

第2章 子ども読書活動の現状

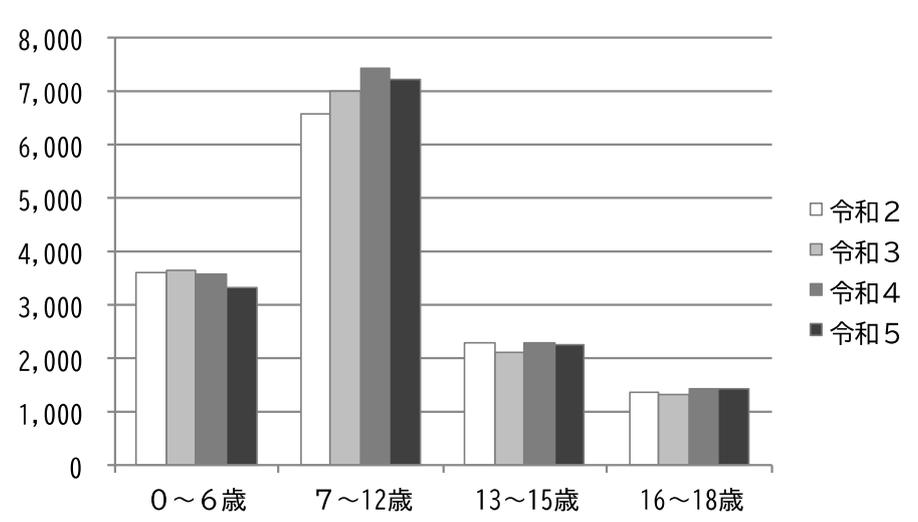
第一 品川区の取り組み

1 区立図書館での取り組み

(1) 子どもの図書館利用

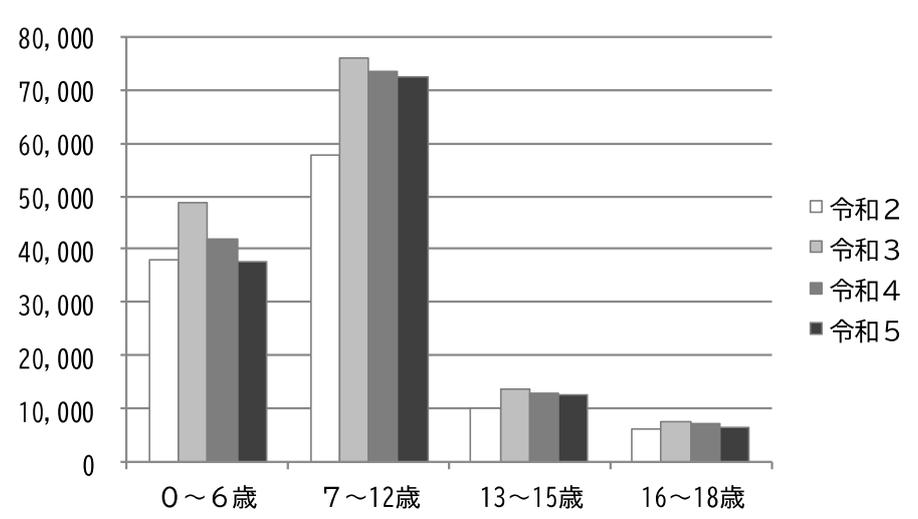
区立図書館の子どもの登録者数の推移をみると、年齢の幅が違いますが、13歳～15歳と16歳～18歳を合わせても、7～12歳の数には及ばず、登録者数が落ち込んでいることが読み取れます。また、延べ利用者数（年齢別）の推移をみると、中学生世代からの落ち込みが利用者数ではさらに顕著に表れています。

登録者（有効利用者：年齢別）推移 各年4月1日現在

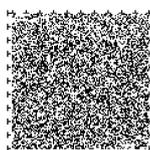


出典：品川区立図書館事業年報

延べ利用者数（年齢別）推移 各年4月1日現在



出典：品川区立図書館事業年報



(2) 事業実績 (児童サービス)

①乳幼児啓発事業「はじめてのえほん よんで よんで」

乳幼児期より本の楽しさを知ってもらうため、4か月児健康診査の受診者へ引換券を配布し、区立図書館とおおさきこども図書室で絵本パック(布の手提げバッグに、絵本1冊と図書館の利用案内、おすすめ絵本のリスト等を入れたもの)との引き換えを行っています。絵本は5作品の中から1冊を選んでもらっています。

年度	絵本パック引換数	出生数	引き換え率
令和2	2,645	3,783	69.9%
令和3	2,598	3,617	71.8%
令和4	2,459	3,410	72.1%
令和5	2,422	2,948	82.2%

令和3年度より、保護者向けに、赤ちゃんと一緒に絵本を開く時間の楽しさ、大切さを伝える講座を開催しています。赤ちゃんと一緒にご参加いただき、わらべうたをたっぷり楽しんでもらった後で、赤ちゃん絵本の読み聞かせを行っています。

「はじめてのえほん よんで よんで 講座」

年度	回数	参加組数	開催図書館
令和3	2	18	品川
令和4	5	37	荏原・大井・大崎
令和5	8	46	二葉・源氏前・八潮・西口

定例おはなし会

②おはなし会

定例おはなし会は、令和2年度はコロナ禍で開催できなかった時期があり回数・参加人数とも少なくなっています。近年、参加者の低年齢化が加速しており、その対応と、小学生の参加を増やすことが課題となっています。

年度	回数	参加人数	※平均
令和2	212	1,997	9
令和3	608	4,797	8
令和4	840	7,364	9
令和5	847	8,580	10

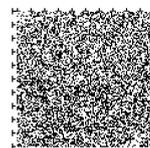
※平均参加者数 小数点以下四捨五入

グローバルおはなしルーム・英語のおはなし会は、外国語を母語とする子ども、外国からの帰国児童の読書活動を支援することを目的に行っていますが、当事者の参加は多くありません。

ただ、多くの子どもたちが参加していて、身近に外国語や文化に触れられる場となっています。

グローバルおはなしルーム・英語のおはなし会

年度	回数	参加人数	開催図書館
令和2	2	63	品川
令和3	7	188	品川・荏原・大井・五反田
令和4	7	172	品川・荏原・大井・五反田・大崎
令和5	26	526	10館1室



バリアフリーおはなし会

年度	回数	参加人数
令和2	1	8
令和3	1	6
令和4	1	18
令和5	2	29

聞こえない・聞こえにくい子と一緒に楽しめる手話通訳つきのおはなし会を品川図書館で実施しています。手話通訳を依頼する必要があるため、実施館・回数が限られていることが課題です。

③手作り会・科学あそび教室・一日図書館員・その他

令和2年度はコロナ禍で、集まって行う行事はほとんどできなかったため、代わりに、各館で、集まらなくても実施できるイベントをいろいろと工夫しました。それが好評だったため、コロナが収束し、集まってイベントができるようになって、続けて実施し、多く子どもたちに参加してもらっています。

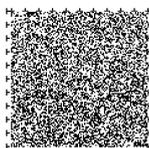
年度	手作り会		科学あそび教室		一日図書館員		その他	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
令和2	0	0	0	0	0	0	54	1,657
令和3	6	428	13	210	13	35	134	6,889
令和4	4	48	13	256	10	30	167	5,915
令和5	19	521	14	276	11	38	156	5,726

④しながわ親子読書の日の啓発事業

毎月23日を「しながわ親子読書の日」として、親子で本を読んでもらうことを推奨しています。その周知を目的として以下の取り組みを行っています。

0～6歳までの乳幼児に向けて、読み聞かせをするのにおすすめの本のリスト「ねえ、このほんよんで！」を毎月発行しています。テーマを決めて8冊紹介するほか、新刊2冊を紹介し、図書館のホームページにも掲載しています。

さらに、児童センターで行っている幼児クラブの参加者を主な対象として、絵本講座・人形劇等の本に関わるイベントを児童センターと共催で実施し、「しながわ親子読書の日」の周知を行っています。コロナ禍により、令和2年度～令和4年度までは、先の見通しが立たなかったため、事業を共催することができませんでした。このため、令和3年度はWEB上で、令和4年度は品川図書館を会場に、代替事業を行い、令和5年度になって児童センターとの共催を再開することができました。児童センターからお声掛けいただき、近隣保育園にも参加していただいています。



年度	絵本講座		参加型イベント		人形劇	
	回数	参加	回数	参加	回数	参加
令和3	1	20組				
令和4	4	30組	6	50組		
令和5	7	159人	9	366人	2回	172人

⑤子ども読書の日フェアの開催

「子ども読書の日(4月23日)」と秋の読書週間にちなんで、春と秋の2回、「子ども読書の日フェア」を実施しています。

各図書館で、児童コーナーにおいて特集本の展示を行なうブックフェアのほか、スペシャルおはなし会、映画会、手づくり会等のイベントを開催しています。

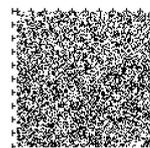
さらに、秋には全体イベントとして、荏原文化センターのほとんどの部屋を会場として、人形劇や映画会、科学あそび、わらべうたあそびなど、いろいろなイベントに参加できる一日を設けています。

コロナのため休館していた令和2年度の春と、秋の全体イベントは中止しましたが、各図書館では、本のセット貸出やスタンプラリーなど集まらずに実施できるイベントを工夫しました。このイベントが好評で、コロナが収束した令和5年度も続けて実施しているものが多くあります。(次の表には、この集まらない形のイベントは含まれていません)

年度	春・各館イベント		秋・各館イベント		秋・全体イベント	
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
令和2			13	175		
令和3	11	115	7	103	11	延べ123
令和4	13	251	10	107	13	延べ572
令和5	9	206	13	189	18	延べ722

⑥としょかんスタンプラリー

毎年8月の一か月間、子どもが自分のカードで本を借りたらスタンプを押し、3つ集めたらノートをプレゼントしています。借りた本の中からおすすめの本を書いてもらった読書の実を図書館に掲示しています。



⑦地域施設への来館・訪問サービス

コロナ禍で来館・訪問サービスとも落ち込んでいましたが、徐々に回復してきています。特に保育園・幼稚園への訪問サービスの実績が著しく伸びています。7～9年生は、コロナの影響で職場体験の受け入れ先が減り、図書館への依頼が増えたものと思われます。病院サービスは、コロナで中止となった後、未だ復活できない状態です。

施設 年度	(来館)			(訪問)			(訪問・来館)	
	保育園・ 幼稚園・ 幼保一体 施設	1～6年生		保育園・ 幼稚園・ 幼保一体 施設	1～6年生 ブックト ーク・おは なし会	児童 センター	病院 サービス	7～9年生
		図書館 見学	ブックト ーク・おは なし会					職場体験等
令和2	13	6	0	18	22	0		0
	493	99	0	347	397	0		0
令和3	62	29	2	47	3	5		8
	836	474	36	1,309	80	84		118
令和4	56	45	4	114	82	2		32
	906	995	77	2,819	421	124		80
令和5	93	22	10	217	34	13		40
	1,564	724	318	4,774	1,669	244		432

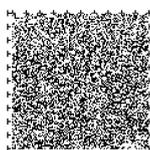
上段：回数

下段：参加人数

⑧児童向けPR物の作成

区立図書館共通のPR物として、以下の表にあるものを作成しています。また、各館独自に、イベントのPRやおすすめの本の紹介を載せた新聞を作成しているほか、対象別・ジャンル別お勧め図書リストを作成しています。

「よんでみたいな」 「Let's Read」	毎年1年間に発行された新刊の中からおすすめの本を選んだリスト。「よんでみたいな」は幼児向け・小学1・2年生向け、3・4年生向け、5・6年生向けの4種類。「Let's Read」は中学生向け
「おひぎのうえで」 「おひぎのうえで もっと」	乳児向け、幼児向け2種類のおすすめ絵本のリスト
「1ねんせいのみなさんへ」	小学1年生むけ図書館の利用案内。全区立学校で配付。
「読書ノート」	読んだ本を記録するためのノート。子ども向け・親子向け2種類。



(3) 事業実績（ティーンズサービス）

令和2年度には、コロナ禍の合間を縫って、12月にTVアニメ「天地創造デザイン部」の第一話を上映する映画会を、品川・ゆたか・五反田の3館で実施しました。

令和3年度には、「ティーンズ限定図書館利用カードキャンペーン」として、期間中に利用カードの登録をした17名と更新手続きをした62名のティーンズにノベルティを提供したり、ティーンズコーナーPRキャラクターを登場させ、その名前を投票で決めるキャンペーン（投票数3,927、内54票はLINEによるもの）を行うなど、ティーンズ向けの事業は、試行錯誤をしながら実施してきました。

その中で、定着してきたのが、以下の事業となります。

①自習室開放

近隣の中学校・義務教育学校・高等学校の定期試験と、受験シーズンに合わせ、学生向けに自習室を解放しています。学校にポスターを掲示してもらいPRを行っています。

年度	品川図書館		大崎図書館		大崎図書館分館	
	回数	延べ利用人数	回数	延べ利用人数	回数	延べ利用人数
令和3	3	483				
令和4	5	563	3	68	3	38
令和5	4	864	4	305	4	83

②POP作成イベント

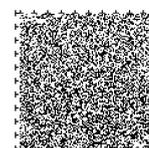
POPコンテストを実施するにあたり、POP作成のテクニックを学ぶ講座を開催しました。

年度	実施館	参加人数
令和3	ゆたか	14
令和4	源氏前	4
令和5	二葉	13

③ティーンズ書評バトルPOP部門（POPコンテスト）

おすすめ本のPOPを作成して応募してもらい、図書館の利用者に投票してもらうコンテストを実施。応募が多いため、職員による一次審査で30作品に絞ってから、利用者に投票してもらっています。各賞合わせ13名が受賞します。

年度	応募	投票数
令和3	63作品	344
令和4	283作品	311
令和5	293作品	344



④ティーンズ書評バトルビブリオ部門（ビブリオバトル）

応募したバトラーが5分でおすすめの本を紹介した後、3分間、会場からの質問に応じる公式ルールに則って実施します。観覧者の投票で、チャンプを決めています。投票を集計する時間には、毎年多彩なゲストをお迎えし、講演をしてもらっています。

年度	バトラー	観覧者数
令和3	6	69
令和4	5	45
令和5	6	72

この他、八潮図書館ではワークショップスタイルのビブリオバトルを実施、大井図書館は伊藤学園でビブリオバトル出前授業を実施しました。

⑤ティーンズボランティア

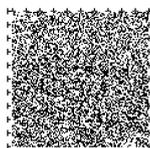
各館でティーンズを対象にボランティアを募集。ボランティア保険に加入して、図書館の仕事を手伝ってもらっています。

活動内容は、本の配架作業からPOPの作成、特集展示、イベント実施の補助まで、多岐にわたっています。

年度	実施館	登録者数	活動回数	延べ参加人数
令和3	6		19	39
令和4	11	41	193	249
令和5	11	58	249	342

⑥ティーンズ向けPR

各館工夫をこらして、イベントのPRやおすすめの本の紹介を載せた新聞や、図書リストを作成、図書館ホームページのティーンズコーナーにも掲載しています。



(4) ボランティア対象講座

①児童サービスボランティア講座

区立図書館のおはなし会を実施してもらう方々を「児童サービスボランティア」として登録しています。おはなし会を実施するために必要な知識を学ぶ「新規ボランティア講座」を隔年で開催しており、この講座を受講した方が対象です。

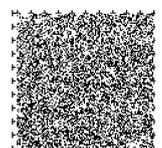
登録後のスキルアップを目的として、レベルアップ講座も実施しています。

また、図書館以外でも活動したい方に登録してもらい、ボランティアの派遣を希望する区立施設に紹介する事業も行っています。

②地域読み聞かせボランティア講座

地域でボランティアとして読み聞かせなどの活動を行っている方を対象に公募を行い、スキルアップを目的とした講座を行っています。

年度	児童サービス		地域読み聞かせ	
	講座数	延べ参加人数	講座数	延べ参加人数
令和2	3	23		
令和3	12	109	2	18
令和4	10	97	2	22
令和5	12	149	1	22



(5) 学校図書館サポート

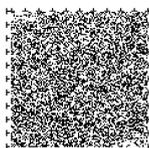
①学校図書館運営支援スタッフの配置

区立全小中学校・義務教育学校に、委託により学校図書館運営支援スタッフを配置しています。運営支援スタッフの業務内容は、レファレンス・ブックトーク・資料収集・授業支援など多岐にわたる業務内容の中から、学校と協議し業務を遂行しています。

②学校図書館ボランティア

学校の募集に応じて活動している学校図書館ボランティアに向けて、学校図書館の基礎知識や、読み聞かせの仕方、本の修理等についての実務講座を開催するほか、学校で実施する講座へ、講師の派遣も行っています。

年度	講座数	参加人数
令和2	2	20
令和3	2	43
令和4	4	81
令和5	4	65



2 学校等での取り組み

(1) 学校図書館の利用状況

学校図書館運営支援スタッフが従事している年間735時間についての月別報告である「学校図書館月間作業報告」によれば、令和5年度における小学校・義務教育学校（前期課程）の学校図書館利用時限数は合計12,441時限、中学校・義務教育学校（後期課程）では合計1,557時限でした。小学校・義務教育学校（前期課程）においては、毎月各学級1時限以上利用している水準ですが、中学校・義務教育学校（後期課程）ではその水準は満たしていません。

小学校・義務教育学校（前期課程）では図書の時間で利用が11,864時限で、利用時限数のほとんどを占めています。そのほか、国語科で412時限、市民科で25時限、社会科で10時限、算数で9時限、理科で6時限と続きます。中学校・義務教育学校（後期課程）でも図書の時間の利用が最も多いものの886時限に留まっており、中学校・義務教育学校（後期課程）での学校図書館利用時限数の減少は、図書の時間が減ることが原因と思われます。

反対にそのほかの教科では、国語科（513時限）、数学（31時限）、市民科（29時限）、社会科（28時限）、理科（18時限）と、中学校・義務教育学校（後期課程）での利用の方が上回っています。ただ、授業用資料を学校図書館で収集した回数は、小学校・義務教育学校（前期課程）で1,382回（学級平均2.2回）であるのに対して、中学校・義務教育学校（後期課程）では181回（学級平均1.0回）と少なくなっており、授業での学校図書館活用について中学校・義務教育学校（後期課程）でより改善の余地があるといえます。

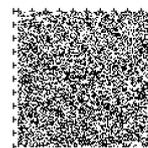
	教科利用時限	教科							授業用資料収集回数	読み聞かせ回数	ブックトーク回数
		図書の時間	国語科	社会科	算数／数学	理科	市民科	その他			
小学校・義務教育学校（前期課程）	12,441	11,864	412	10	9	6	25	115	1,382 (2.2)	7,346 (11.9)	1,532 (2.5)
中学校・義務教育学校（後期課程）	1,557	886	513	28	31	18	29	52	181 (1.0)	719 (4.1)	190 (1.1)

学校図書館利用実績(令和5年度)

学校図書館月間作業報告(令和5年度)より

※授業用資料収集回数、読み聞かせ回数、ブックトーク回数の()内の数字は学級平均の回数です。

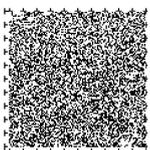
※令和5年度の小学校・義務教育学校(前期課程)のクラス数(特別支援学級含む)は615学級です。中学校・義務教育学校(後期課程)のクラス数(特別支援学級含む)は175学級です。



(2) 学校での読書活動

学校においても読み聞かせやブックトークを行っています。令和5年度には、小学校・義務教育学校（前期課程）で読み聞かせは7,346回、ブックトークは1,532回行われており、それぞれの学級平均は11.9回、2.5回でした。中学校・義務教育学校（後期課程）においては、読み聞かせが719回、ブックトークが190回行われており、学級平均は4.1回、1.1回でした。

その他、児童・生徒に学校図書館の利用を促すため、資料面・環境面での様々な取り組みが行われているほか、教室に学校図書館資料を配架することで本を手に取りやすくするアウトリーチ型の取り組みや、区立図書館と連携した来館促進の取り組みも行われています。



第二 子どもや家庭の読書活動の実態

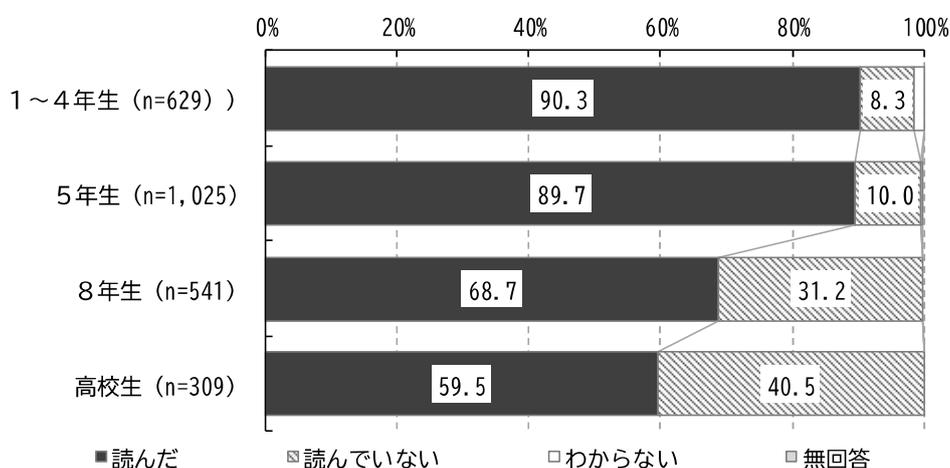
1 子どもの読書実態

(1) 年代別の読書の状況

1か月間の読書の有無を学年別でみると、「1～4年生」では「読んだ」が90.3%、「5年生」では89.7%、「8年生」では68.7%、「高校生」では59.5%であり、学年が上がるにつれて「読んだ」割合は低くなっています（図表2-1）。

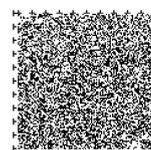
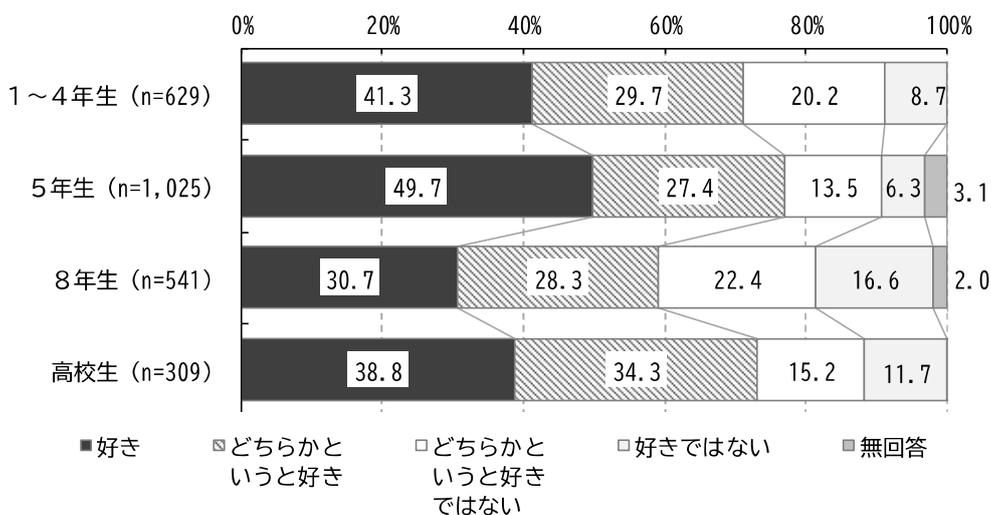
また、本を読むことが好きかどうかについては、「好き」「どちらかという好き」を合わせた肯定的評価が「5年生」では77.1%ともっとも高く、次いで「高校生」（73.1%）、「1～4年生」（71.0%）、「8年生」（59.0%）となっています（図表2-2）。

図表2-1 1か月間の読書の有無（学年別）



※表内のnは、回答者数を意味します。

図表2-2 本を読むことが好きか（学年別）



(2) 本を読まなかった理由

5・8年生、高校生での本を読まなかった理由をみると、「ふだんから本を読まない」といった本を身近な存在として認識していない理由や、「テレビや動画をみたり、ゲームをする方が楽しい」といった読書以外に魅力を感じることを優先した理由、「時間がなかった」といった時間的制約が上位に挙げられています（図表2-3）。

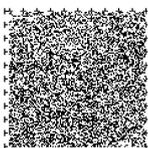
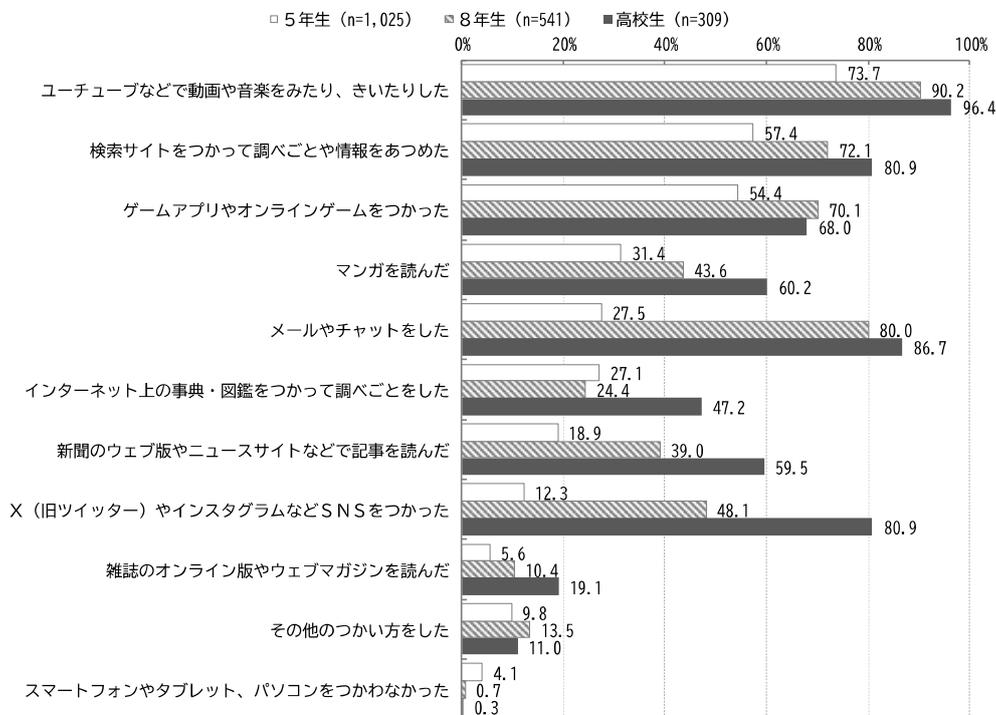
図表2-3 本を読まなかった理由（学年別、上位3項目）

単位：%	第1位	第2位	第3位
5年生 (n=103)	ふだんから本を読まないから	テレビや動画をみたり、ゲームをする方が楽しいから	読みたいと思う本がなかったから
	50.5	45.6	39.8
8年生 (n=169)	テレビや動画をみたり、ゲームをする方が楽しいから	ふだんから本を読まないから	勉強や習いごと、部活などをしていて時間がなかったから
	63.3	59.8	50.9
高校生 (n=125)	ふだんから本を読まないから	テレビや動画をみたり、ゲームをする方が楽しいから	勉強や習いごと、部活などをしていて時間がなかったから
	53.6	50.4	48.0

(3) インターネット等の利用状況

5・8年生、高校生でのインターネット等の利用状況をみると、「スマートフォンやタブレット、パソコンをつかわなかった」は全ての学年で5%未満にとどまり、学年が上がるにつれて、複数のデジタルツールを使いこなしていることがうかがえます（図表2-4）。

図表2-4 インターネット等の利用状況（学年別）

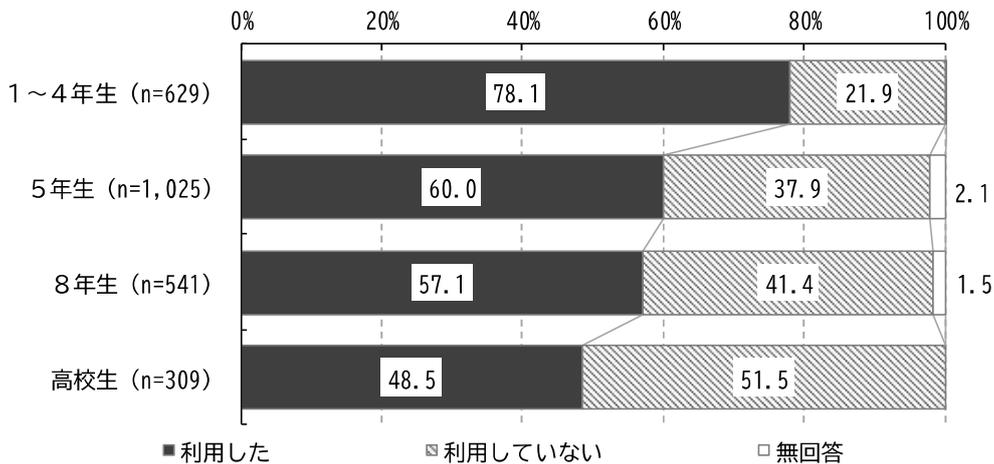


2 読書環境の利用状況

(1) 区立図書館の利用状況

この1年間での区立図書館の利用状況をみると、「1～4年生」では「利用した」が78.1%と最も高く、「5年生」では60.0%、「8年生」では57.1%、「高校生」では48.5%となっており、学年が上がるにつれて、区立図書館から足が遠のいています（図表2-5）。

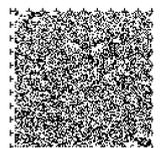
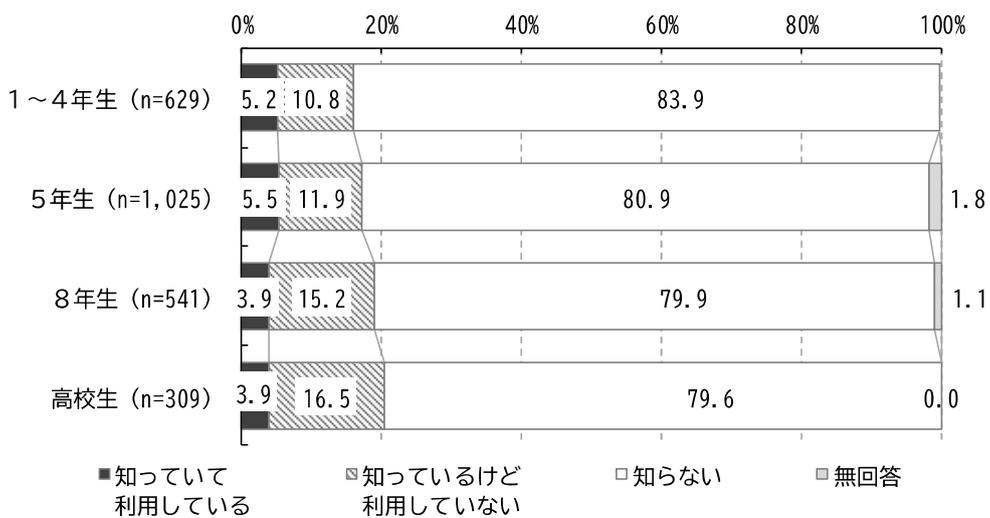
図表2-5 区立図書館の利用状況（学年別）



(2) しながわ電子図書館の認知・利用状況

しながわ電子図書館の認知・利用状況をみると、全ての学年で「知らない」が約8割を占め、利用率は3～5%台にとどまっております。「しながわ電子図書館」の存在を十分に認識してもらえていないことがうかがえます（図表2-6）。

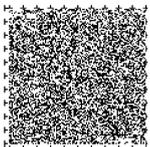
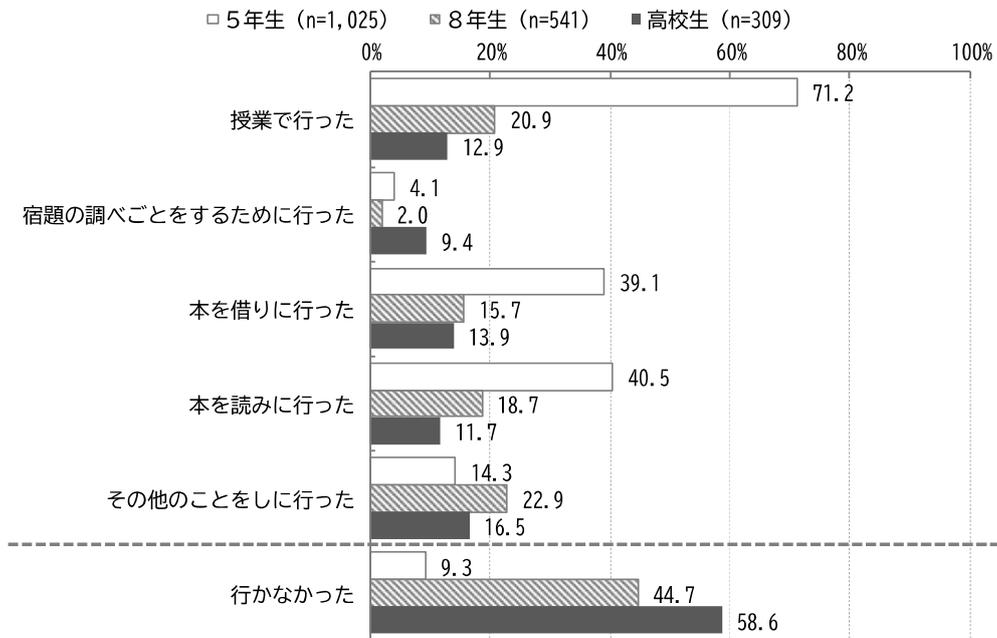
図表2-6 しながわ電子図書館の認知・利用状況（学年別）



(3) 学校図書館の利用状況

学校図書館の利用状況をみると、「5年生」では「行った」が88.8%、「8年生」では54.6%、「高校生」では39.5%であり、学年が上がるにつれて「行った」が減少しています（図表2-7）。

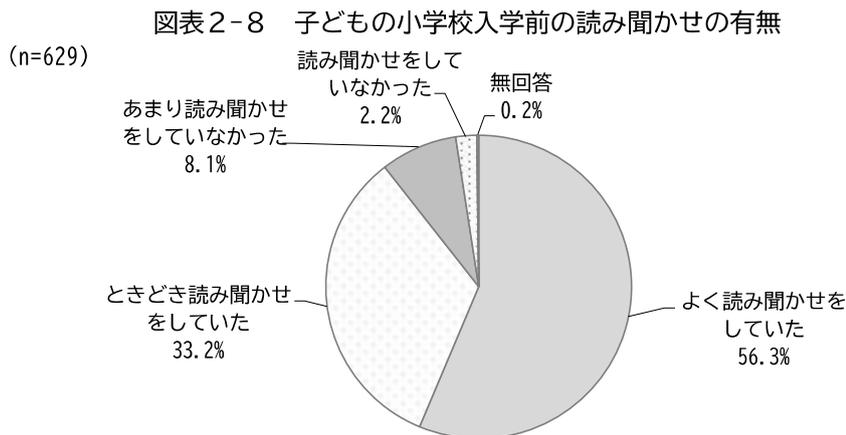
図表2-7 学校図書館の利用状況（学年別）



3 家庭等での読書活動の状況

(1) 読み聞かせの状況

4年生以下の子どもを持つ保護者向け調査結果によると、子どもの小学校入学前の読み聞かせについて、「よく読み聞かせをしていた」「ときどき読み聞かせをしていた」を合わせた実践層が89.5%、「あまり読み聞かせをしていなかった」「読み聞かせをしていなかった」を合わせた非実践層が10.3%となっています（図表2-8）。



(2) 家庭や友だち間でしている読書活動

高校2年生相当の青年向け調査結果によると、普段している読書活動について、「友だちに読んだ本をすすめる」では「よくしている」「ときどきしている」を合わせて37.1%であり、「読んだ本の内容や感想について友だちと話す」では34.3%、「読んだ本の内容や感想について家族と話す」では33.0%となっています。読書をしている高校生世代の中に、本を通じて家族や友達とコミュニケーションを図っている層が一定数存在することがうかがえます（図表2-9）。

図表2-9 家庭や友だち間でしている読書活動（特に実践されている項目を抽出）

